

ワイヤレスで監視 タイヤ ロジック用発売

【吉田英行】車載機器 レスのトラック用タイヤ
 販売会社のロジック（柴田 空気圧モニタリングシ
 篤三社長、埼玉県和光 テム「TPチェッカー」
 市）は四月から、ワイヤを発売する。

自動車部品メーカーの 電池内蔵のセンサーを取 装置が不要。空気圧と温
 アッソ・インターナシヨ リ付け、空気圧と温度を 度が設定値を上回ると、
 ナル（時本真一社長、東 計測。三秒に一回の間隔 ランプとブザーで運転者
 京都新宿区）が開発した で運転席のモニターに送 信する仕組み。
 もので、運転席でリアル タイムにタイヤの空気圧 と内部温度が分かる。
 タイヤ内にアンテナ・

運転席でタイヤ空気圧確認

「特定小電力」認可へ

総務省

ドライバーが運転席で 能になる。ドライバーは される見込みという。
 タイヤの空気圧をチェッ 車内でモニターを見てタ イヤの状態をチェック 月までに、すべての新型
 クするなど安全性を高め し、空気圧が足りない場合 乗用車にこの特定小電力
 る仕組みの整備・普及に は音響などで知らせる。 を使ったシステムを搭載
 つなげるため総務省は十 同システムはすでに輸 することが義務づけられ
 二日、「特定小電力」と 入車の一部が導入、国内 ており、日本自動車工業
 という電波の使用を認める でも一部のタイヤメーカ 会や国内自動車メーカ
 方針を固めた。十三日の ーが製造しているが、自 ーらが輸出車への対応を含
 電波監理審議会に諮問、 動車のドア開閉などに現 め同システムを認めるよ
 年明けの審中を経て年度 在使っている「微弱電 う強く要望していた。
 内の電波法施行規則改正 をめす。

総務省によると自動車 波が弱く、センサーを余 分につけなければならな
 の空気圧チェッカーは、タ いなどの難点があった。 期待される。空気圧以外
 イヤに取り付けたセンサ 特定小電力は微弱電波よ にも位置を知らせるため
 ーと、自動車内の送受信 機が送信することで、可 りも強く、問題は解消
 のライト・尾灯やエンジン 始動などに活用できる。

物流ニッポン LOGISTICS NIPPON

2008年(平成20年) 3月27日(木曜日)

完全なワイヤレスタイ プで、独自に認可を受け た特定小電力周波数帯を 使用するため電波送信が 確実で、ケーブルや受信
 ラック用「LT609」 十二万二百五十円、六輪 ヘビートラック（四つ以 上）用「HT609」十 三万四千四百円、四輪ラ
 イトトラック・バン用 「LT409」七万九千 八百円。

価格は、六輪ライト
 価格は、六輪ライト
 ラック用「LT609」
 十二万二百五十円、六輪
 ヘビートラック（四つ以
 上）用「HT609」十
 三万四千四百円、四輪ラ
 イトトラック・バン用
 「LT409」七万九千
 八百円。